



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.10.27(木)

No. 98



文責
松永

オンラインを活用した児童会集会の様子を紹介します！

水曜日の朝は、学校朝会や児童会集会などから始まります。10月19日(水)は、児童会集会の日でした。今回の発表担当は、エコピカ委員会の発表でした。いつものように家庭科準備室からオンライン配信しましたが、この児童会集会は情報委員会が配信の準備をしています。司会進行は集会委員が担当しており、子どもたちの手によって運営することができています。はじめの言葉に続いて、事前に収録し準備されていたエコピカ委員会からの映像を、各学級で視聴しました。まず、委員会名にある「エコ」の活動として、環境や資源を大切にしている活動をしていること、そして学校をきれいにする「ピカ」の活動をしているという説明がありました。そして、具体的な活動として、エコ活動として古紙回収をしていること、ピカの毎週木曜日に玄関周辺の掃除をしていること、そうじ名人ピカピカキャンペーンに取り組んでいることなどに取り組んでいることを紹介してくれました。無言掃除をがんばってほしいという呼びかけもありました。

この映像を見た後は、感想交流にうつります。集会委員が今回担当する教室で待っていて、その学級の子どもに感想を聞きます。「エコピカ委員会は、そうじのイメージしかなかったけど、古紙回収などもやっていることがわかりました。これから積極的にエコ活動に取り組んでいきたい」といったことを、画面越しに伝えてくれました。それを聞いたエコピカ委員会の委員長が、こう返しました。「同じそうじでも、すみずみまでそうじするとか、無言掃除をがんばるとか、ちょっと気にかけることでそうじの質が変わってきます。少し気にかけてみてほしいです」と…。相手に伝える、それを聞いてお返しをする、そしてまたそれに応えて意見を言う、つまり、一往復半の意見のやりとりとなるわけです。意見交換をするためには、相手の話をしっかり聞く必要がありますし、返すために言葉を準備しないとイケませんね。日常の中でも、こうした言葉のやりとりをする場面はたくさんあります。言葉に込めた思いがしっかり伝わるように表現する力をつけてほしいと思います。



一週間後の木曜日、8時前から玄関付近でそうじをしている子どもたちの姿がありました。エコピカ委員会の子どもたちに加えて、1年生も自分たちが届く台の上を一生懸命に拭いていました。



「一緒にそうじしてどうでしたか？」と尋ねたところ、「きれいになると気持ちいいです。心もピカピカになりました。またします！」と笑顔で返してくれました。